

—その種目の魅力はどんなところにありますか。

土井:走高跳の魅力を一言で表すと「わかりやすさ」だと思います！自己バストや標準の高さを跳んでみんなで盛り上がるのができる瞬間が大好きです。

—私は走高跳やったことないですけど、跳べたか跳べてないか一瞬で分かる種目で、とてもハラハラするし、みている側としてもとても盛り上がると感じています。

—チーム代表としての心持は(限られた人しか出ることのできない日本インカレの選手として出場される心情などをお聞かせください)

土井:チームのみんなは忙しい合間を縫って、人によっては複雑な気持ちで京都まで応援しに来てくれると思います。出たくても出られない人がいる状況なのでプレッシャーを感じていますが、できる限りの準備をしてきました。期待に恥じない跳躍をします！

—一緒に戦ってきたチーム芸芸大学陸上部のいい所はどんなところだと考えますか。

土井:チームの良さは直向きに競技に取り組む選手が沢山いるところだと思います。私は大学に入学してから怪我に悩まされたり、長期間のリハビリでメンブレしたり、うまく記録が伸びなかつたりして陸上競技から離れたらと思うこともありました。そんなときでもグラウンドに顔を出すと多くの選手が一生懸命に練習していたり、励ましてくれる仲間がいたりしたお陰で何とかここまで続けることが出来ました。

—私も学大の仲の良さ、みんなが一生懸命なところ、チーム力が強いと感じます！そんなチームの中で練習できてとても光栄です🥰

—土井さんは、最後の記録会で日本インカレA標準を突破されましたよね。大舞台や大事なところで結果を出すことのできる土井さんの勝負強さの秘訣をお伺いしたいです！

土井:今回フストチャンスで日本インカレA標を跳ぶことが出来たのは偶然だと感じています。僕は緊張しいで、これまで全国大会、関東インカレなどの大舞台でPBを出せたことは一度もありません。ただ、2m13を跳ぶことが出来た試合は大舞台同様の重圧がありつつも沢山の仲間が競技場まで来て見守ってくれました。心が軽くなったことで落ち着いて競技に臨めて良い結果に結びついたのだと思います。改めて応援の力の大きさを感じたし、バストパフォーマンスを発揮するためには不可欠なものだと認識しているので日本インカレも見守ってくださいます！よろしくお願いします！

—土井さんがA標準を切ったと聞いて私たちも嬉しかったし、インスタなどの動画で仲間と抱き合っている姿、とても感動しました🥰

土井:ありがとうございます！いい後輩すぎる🥰全力応援よろしく！秋シーズン頑張ろう！

—そんなこと言ってもらえて光栄です！もちろんです！！はい、頑張りましょう！

—ここに来るまでに(又は標準を切るまでに)強化して練習してきたことや日本インカレで見ていることはありますか。

土井:警部の貢献度を高める&接地タイミングを安定させるためにバウンディングに力を入れて練習してきました。助走に「注目くださいー」

—日本インカレで土井さんの練習されてきた成果が発揮できるように、陸上部一同応援しています！